

上条 報告

第50号
平成25年7月

甲州市教育委員会
☎32-5097

市内文化財の県指定について

平成二十五年六月二十一日に山梨県文化財保護審議会は、次の文化財について山梨県指定とするよう答申しました。

● 絹本着色十字架捧持マニ像（天目山栖雲寺蔵）

● 絹本着色不動明王像

附（つかけり）紙本着色不動明王像 横田汝圭筆

（柏尾山大善寺蔵）

● 塩平の獅子舞

（無形民俗文化財・山梨市）

このうち、有形文化財である先の二件は甲州市に所在しており、新たに貴重な文化財が増えることとなりました。

「十字架捧持マニ像」については、「上条報告 第二十五号」（平成二十三年六月）にて特集したところです。そのときには景教（中国に伝播したキリスト教ネストリウス派）またはマニ教絵画ではないか、としていましたが、世界的な研究が進められ、マニ教絵画であるとの考えが大多数となっています。

指定名称も、その流れを受けてのものです。が、類例する絵画が国内外に八点しかなく、今後も引き続き調査研究されるべき絵画であります。新指定を受けた文化財について紹介します。

絹本着色十字架捧持マニ像

法量 縦一五三・三 cm 横五八・七 cm

作者 不明

時代 元時代（十三～十四世紀）

本図は、「上条報告 第二十五号」でも記したとおり、十字架を手にする聖像で、大和文華館（奈良市）が所持する「六道絵」の尊像と多くの共通点を持っています。この尊像は「マニ」その人であると考えられ、したがってマニと共通する特徴を持つことから、「十字架捧持マニ像」という解釈が生まれました。

しかし、六道絵のマニとは像容が異なる点もあるため、マニ像と言い切っていないものかどうか、検討の余地があります。

今回の指定は、マニ教か景教かという研究者の論争はさておき、山梨県の古刹に元時代の絵画が保存されてきたという歴史的・文化的な事実をもってなされたものです。

世界的にも類例が少ない貴重な絵画であるため、国指定も考えられる文化財ですので、今後も引き続き調査研究が進むことが期待されています。



絹本着色十字架捧持マニ像

絹本着色不動明王像

附 紙本着色不動明王像 横田汝圭筆

法量 縦四四五・六 cm 横三三九・八 cm

（附 縦四四六・二 cm 横三三八・二 cm）

作者 不明（附 横田汝圭）

時代 平安時代後期

（附 江戸・文化四年―一八〇七）

大善寺に古くから伝わる不動明王像で、県内屈指の大型絵画です。毎年七月十五日に本堂に掛けていたと記録されており、寺にとっては重要な不動明王像だったため、画面が見えなくなるまで大切に使われていたものと考えられます。



絹本着色不動明王像
画面の劣化が著しく、何が描かれているのかよく分かりません。かろうじて炎などの輪郭が確認できます。



附 紙本着色不動明王像
古い像の想定復元模写ですが、この像によりオリジナルの像を把握できます。

【シンポジウム開催のお知らせ】

故郷で 守りたいものがある。

被災地で歴史ある風景を残すために

二〇一一年三月に起きた東日本大震災。多くの人の生活を奪い、建物は失われ風景も一変した。取り壊しを余儀なくされた建物も少なくない。そんななか再建できそうな、強い運命'を持ったものもある。これまでの文化財修復を通じて培われた修復技術を学び、被災地で歴史的建造物を残す方法を考える。

日時 七月十四日（日）

十時～十五時（受付 九時半～）

会場

事例報告

山梨県甲州市

「甘草屋敷」

（重要文化財 旧高野家住宅）

実演講習

伝匠舎

（株）石川工務所



尾形家住宅（気仙沼市小々汐）



登録有形文化財 男山本店（気仙沼市）



村井醸造（桜川市真壁町）

第Ⅰ部 事例報告（10時～12時）

川島 秀一（東北大学 災害科学国際研究所 教授）
後藤 治（工学院大学 建築学部 都市デザイン学科 教授）
葉山 茂（龍谷大学 非常勤講師）
藤川 昌樹（筑波大学 システム情報系 社会工学域 教授）
三浦 卓也（株）マヌ都市建築研究所 主席研究員

第Ⅱ部 実演講習（13時～15時）

気仙沼市小々汐にあった尾形家住宅。津波で流され、屋根以外は壊されてしまった。しかし、日本の伝統的な木造建築は、文化財の修理技術を使えば直せる。壊れた柱梁を、大工の実演で部分的に組み立て、それを実証する。

申込み ※参加費無料

mail又はFAXにて7月8日（月）までにお申込みください。

申込み：気仙沼・尾形家修復保存会
info@ogata-kesennuma.com

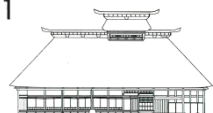
（公財）日本ナショナルトラスト
FAX 03（3237）1190

問い合わせ：（公財）日本ナショナルトラスト
（吉田・土井）TEL 03（6380）8511

気仙沼・尾形家修復保存会

<http://www.ogata-kesennuma.com/>

気仙沼・尾形家修復保存会はSOC 基金（東日本大震災被災文化財復旧支援事業）及び公益財団法人 朝日新聞文化財団の助成を受け、部材修理を行っています。



※会場には駐車場がありません。公共交通をご利用ください。
JR 中央本線 塩山駅下車 北側出口 徒歩1分

主催：気仙沼・尾形家修復保存会
共催：公益財団法人 日本ナショナルトラスト
後援：気仙沼市教育委員会／甲州市・甲州市教育委員会／
国立歴史民俗博物館／山梨県立博物館／気仙沼風待ち復興検討会／
ディスカバーまかべ／伝匠舎（株）石川工務所／工学院大学後藤治研究室

東日本大震災 自然・文化遺産復興支援プロジェクト

SEEDS OF FURUSATO

後援 観光庁
協力 文化庁
AGENCY FOR CULTURAL AFFAIRS

日本ナショナルトラストは、尾形家住宅の再建を目指す「気仙沼・尾形家修復保存会」とともに、「尾形家住宅修復保存プロジェクト」を推進しています。